

地域づくり推進事業について (未来デザイン2040における位置づけ)

みんなで目指す2040年の姿を経て、「都市像」の実現へ

- 未来デザイン2040は、本市の最上位計画であり、「基本構想」「基本計画」で構成。
- まちづくりの基本理念に基づき、6つの都市像（私たちが目指すまち）を掲げ、2040年までの目標として、みんなで目指す2040年の姿を定めている。

6つの都市像



活力あふれる
自立都市の実現度

「みんなで目指す2040年の姿」
を経て、「都市像」の実現へ

都市像
(私たちが目指すまち)

みんなで目指す
2040年の姿

目標
設定

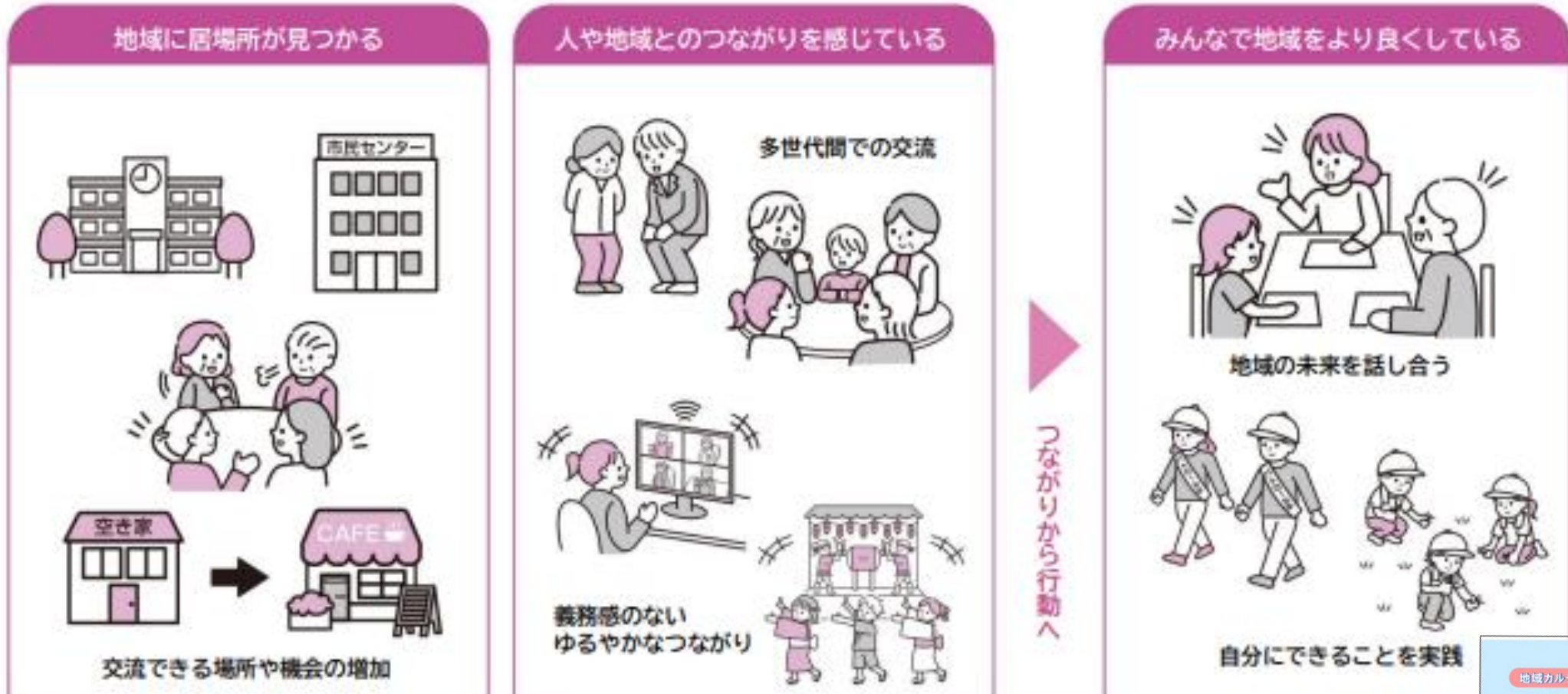
現在

2030年 2040年

時間

<基本構想に掲げる「都市像」と「みんなで目指す2040年の姿」との関係性>

人とひと、人と地域などが多様なつながりを実感し、 01 ほっとする住みよいまちをみんなで作っている。



- 令和3年6月 モデル地区として「推進会議」を設置。
- 令和6年2月 地域づくり団体である「長房の未来をつくる会」設立。
- 地域で活動する団体や住民等、約20名が参加し、「地域カルテ」「推進計画」を策定。
- 「みんなの食堂」「ハロウィンイベント」「地域情報の発信」「キャリア教育」など取組を実施。



重点テーマ「未来へのつながりづくり」

- 「みんなで目指す2040年の姿」を実現するため、2030年までに重点的・分野横断的に取り組む内容として「重点テーマ・取組方針」を定める。
- 「取組方針」には、2030年までの数値目標を設定。

■ 数値目標（2030年度）	◆ 主な取組（細施策） ■ 重要業績評価指標（KPI）／目標値（2030年度）
■ 地域に人とひととのつながりがあるまちと感じている市民の割合 28.4% → 60% (2022年度)	◆ 施策01-1 地域づくりの推進 ■ 地域づくり推進会議を設置している中学校区数 4校区 → 全37校区 (2022年度)
	◆ 施策09-1 地域で支えあえるつながりづくり ■ はちまるサポートの認知度 11.4% → 50% (2022年度)
	◆ 施策13-2 子ども・若者の居場所づくり ■ 子ども食堂や学習支援団体など、八王子市地域子ども支援事業の登録団体がある中学校区数 20校区 → 全37校区 (2021年度)
■ 身近な場所に困りごとを相談できる人がいる市民の割合 67.2% → 85% (2022年度)	◆ 施策30-5 地域・社会課題解決型ビジネスの創出 ■ ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス* 相談件数 - 件 → 30件